

平成 2 7 年度墨田区立業平小学校経営報告書

平成 2 8 年 3 月 1 日

学 校 目 標	独 学 自 修
目 指 す 学 校 像	子どもの学びを大切にして、確かな学力を育てる学校 歴史と新しさが共存する学校 教職員が協働の姿勢で、組織的に指導・実践する学校 保護者・地域との連携を大切にする学校
目 指 す 子 供 像	・進んで学ぶ子ども ・優しい子ども ・元気な子ども
目 指 す 教 師 像	教育に対する熱意と使命感をもつ教師 豊かな人間性と思いやりのある教師 子ども一人ひとりの良さや可能性を引き出す教師 責任感と協調性を有し、互いに高めあう教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
各教科等指導	学校は、子供たちに確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本を重点とした授業改善を進める。</li> <li>I C T を活用した授業改善を推進する。</li> <li>習熟度別少人数指導を充実させるために指導方法の改善充実を図る。</li> </ul>	B	B
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援指導員による授業時の取り出し指導等を実施し、個別的な支援を強化する。</li> <li>放課後学習教室週 2 回、放課後すみだ塾週 1 回全学年で実施する。</li> </ul>	A	A
	学校は、子供たちの将来の自立に向けた教育活動・相談活動に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会で役立つという意識を育成する。</li> <li>人間関係形成能力・情報活用能力を養う。</li> </ul>	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	学校独自の放課後学習教室とすみだ塾の充実で、学力低位層の児童が減少傾向にあることは評価できる。今後は、学習意欲の高い児童に対しても、レベルに応じた学習課題に取り組みせて学力の伸長を図ってもらいたい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
生活指導等	学校は、子供たちの問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内委員会、生活指導朝会、生活指導研修会の充実を図る。</li> <li>校内のいじめ対策委員会の充実を図るとともに SC や関係諸機関との連携強化を図る。</li> </ul>	B	B
	学校は、子供たちが基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>業平ルールを重点課題とし、その定着を図る。</li> <li>生活リズムカード「いきいき貯金」やメディアコントロールの取組を強化していく。</li> <li>年間 2 回人権月間、週間を実施する。</li> </ul>	B	B

様式 4

			・オリンピック・パラリンピック教育を通して「おもてなしの心」の育成に努める。		
	学校は、子供たちの安全を確保するための取組を行っているか。	B	・子供の危機回避能力を高める防災教育を進める。 ・安全教育について保護者への理解を深める。 ・学校情報連絡メールを活用する。 ・安全教育プログラムを活用する。	B	B
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立てているか。	B	・学校行事毎にアンケートを実施し活用する。 ・保護者会等の参加率を高めるためのより活発な取組を行う。 ・ホームページ、学校掲示板を充実させ双方向の情報交換に努めていく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	各行事のアンケートはおおむね良好であり、学校の取組姿勢は評価できる。本来は保護者のしつけの部分が大きいですが、生活・学習習慣形成のための養護教諭による生活リズムカードの取組はすばらしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針をもとに、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	・組織の機動性を最優先した運営組織を作る。 ・組織としての業平小OJTを明確にする。 ・学校運営連絡協議会との連携の強化を図る。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	・「進んで学ぶ子」を重点目標とし、その定着を図る。 ・学校評価・年度末反省での反省内容の精査を行う。	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	C	・タブレット型PCの導入を進める。 ・特別教室に大型モニターを設置する。 ・すべての教室にプロジェクターを設置する。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	学校前の歩道の花壇の整備が学校と区役所の連携で順調に行われていることは評価できる。安全面で玄関扉が設置され適切に運用されているので安心できる。トイレの改修で明るく清潔感のあるトイレになり良かった。学級増による普通教室が不足しないか不安である。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
家庭・地域	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	・HPや学校・学年・学級だより、校長室だよりでの情報発信を充実させる。	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	・PTA 行事への教職員の参加と協力を行うとともに、学校を開く努力を継続して取り組む。 ・地域在住のゲストティーチャーや読書ボランティアの授業協力を推進する。 ・地域の施設、偉人等を教育活動に取り入れ、地域の文化や伝統に触れる学習を強化する。	B	B

様式 4

連携					
	学校関係者評価委員会の意見等	保護者や地域を学校の教育活動に取り組んでいるのは評価できる。今後も連携を充実させてほしい。アンケート回収率も96%超えはすばらしいが、まだ、意識の低い保護者がいる。			

2 平成27年度学校評価のまとめ

設問に対し保護者が分からないと答えた項目に心の教育があるが、保護者の関心・意識が低い気がする。保護者は学校のことをよく分かっていないのか？学校側の情報発信が低いのか？学校としてもさらなる工夫が必要。挨拶に関してはさらなる学校側の指導も必要だが、限界がある。生活習慣や学習習慣の項目もそうであるが、保護者・学校双方向が意識して取り組まなければ、解決に向かえない。その点で、生活リズムカード「いきいき貯金」の継続的な取組は評価できる。

総じて、学校の教育活動に対し高く評価するが、さらに保護者を教育活動に取り組んで意識を向けさせる必要がある。

以上の通り報告いたします。

墨田区立業平小 学校長 瀬戸 英一

